

令和2年度事業計画 主な新規事業等の概要

社会就労センターきたざと（生活介護事業・就労継続支援事業A型・就労継続支援事業B型）

生活介護事業

障害の重い利用者の方やこだわりの強い利用者の方など、一日を通して継続して作業に取り組む事が難しい方も増えてきていますので、個々の障害特性に配慮した支援方法や作業環境を整備し、自分のペースで作業に取り組めるよう支援を行っていきます。

就労継続支援A型事業

地域で生活する障害者の方の就労の場を提供し、利用者個々の地域社会での自立と社会参加を促進していくため、キッズピアあしかが場内業務補助・印刷業務など、当事業所で一般企業と遜色ない仕事を提供して行きます。

就労継続支援B型事業

今年度も「エコリサイクル事業」「印刷事業」「環境整備事業」を中心に収入アップを目指し、利用者の方への高工賃支給へとつなげていきます。また、新たな事業としてスリランカ国産の農場で栽培された上質な紅茶の販売を行い、ハートショップの販売会やイベント等でも積極的に販売を進めていきます。

令和元年度にパッカー車購入のため、積み立て¥2,000,000の内¥500,000を取り崩しました。

セルプ絆（就労移行支援事業・就労継続支援事業B型・就労定着支援事業）

就労移行支援事業

一般就労に向け、社会性や一般常識、対人関係の修得、作業訓練など「就職」に特化したプログラムに取り組みます。また、関係機関と連携を図り、企業における実習、適性に合った職場探しなどの支援を行い、就職へと繋げていきます。新たな取り組みとして、作業訓練に対し訓練費をお支払いし、金銭管理や栄養・衛生管理などの生活面に対する支援を充実させます。また、特別支援学校卒業生などの働くことを希望する方に対し、適切な働く場の選択ができるよう就労面に関する客観的な情報を把握するための就労アセスメントを学校の長期休暇等を活用し実施します。

年間就職者数（令和元年度）1名⇒（令和2年度）5名

就労継続支援B型事業

生産活動の収入は、必要経費を控除した金額を工賃として利用者の方々へお支払いします。また、「peterpan」の運営を安定させるべく、売上向上、経費削減の双方から取り組み、平均月額工賃20,000円以上を目指します。

就労定着支援事業

障害福祉サービス（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援）を利用して一般就労した方に対し、6か月間の就労移行支援事業等の職場定着支援期間を経過した後も引き続き職場定着を促進するため、生活面の課題解決等に向けて、対面による相談や雇用先への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に行います。

年間目標契約者数（令和元年度）7名⇒（令和2年度）7名

ダイアクティビティセンターWIN（生活介護事業）

個別支援計画を基に、利用する方個々の能力や適性に合った様々な活動プログラムを提供します。生活の幅や見聞を広め、より充実したライフスタイルを形成するため、作業・創作・文化・レクリエーション等、地域の社会資源の活用を図りながら多種多様な活動を取り入れていきます。また、機能訓練を実施し、日常生活能力の維持・向上に努めます。

セルプみなみ（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

生活介護事業

利用者の心身の状況に応じた適切な技術をもって、自立支援、日常生活の充実のために必要な支援及び生産活動の機会を提供します。

就労継続支援B型事業

販路拡大、官公需の活用や、新たな製品開発に取り組み、高工賃の支給ができるよう努めます。また、利用者の意向に添って就労に必要な知識、技能を高め、一般就労等への移行に向けた支援に努めます。

昨年度から施設外就労として、ホテルでの食器洗浄作業及びアパート清掃作業等を請け負い、作業量の増加を図っていますので、更なる工賃向上につなげ、平均月額工賃 26,800 円以上を目標とします。

グループホーム ドナルド（共同生活援助）

利用者が地域において共同して自立した日常生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談や入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切に行ないます。

また、昨年度1月から、居宅においてその介護を行う者の疾病やその理由により、障がい児者に緊急的に支援が必要な状況になった場合、短期間の入所の受入れを行い、入浴、排せつ及び食事の介護やその他の必要な支援である「足利市あっしーネット緊急時支援事業」を引き続き行います。

ビタミンクラブ（放課後等デイサービス）

知的な障害をもつ児童が、日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適應することができるよう、児童発達支援計画(個別支援計画)に基づき、利用者の個性を最大限に伸ばしながら、楽しさと満足感を感じながら成長できるよう療育支援を行います。

日中一時支援事業 スマイル（日中一時支援事業）

活動する場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練を行うとともに、障害児者を持つ家族の就労支援と日常的に介護している家族の一時的な休息支援として、日中一時支援事業・タイムケアサービスを提供します。

両毛圏域障害者就業・生活支援センター（就業・生活支援センター）

障害者からの相談に応じ、就業及び日常生活上の問題に関する指導・助言等を行うほか、職場定着促進のため、事業主に対して必要な助言等を行うとともに、関係機関との連携等を図ります。

足利むつみ会障害者相談支援センター（指定相談事業所）

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業としてサービス利用計画作成やモニタリング等の業務を行うほか、足利市基幹相談支援事業に職員を出向させます。指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業については、特定事業所加算4類型（Ⅳ）及び強度行動障害支援として、体制整備しています。

特別養護老人ホーム青空（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・通所生活介護事業・居宅介護支援事業）

寝たきりまたはそれに準ずる方、もしくは認知症の方で居宅において適切な介護を受けることが困難な方を対象に入居して頂きます。利用者に対して、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を提供します。また、短期入所やデイサービス等多様なサービスを提供し、周辺地域の住民にとって、安心できる福祉拠点として、介護問題だけでなく、高齢化問題や災害時にも頼られる存在になれるよう努める。地域のニーズに沿った施設運営を目指します。

ふくい保育園

「健康な心と体、豊かな感性」（あかるいえがお げんきにあいさつ おもいやり）を保育目標に掲げ、より一層質の高い保育サービス・地域の子育て支援の提供に努めます。また、地域の関係機関と交流を図りながら、子育て支援に関する地域の人材を積極的に生かし、連携します。

キッズピアあしかが（公益事業）

「屋内子ども遊び場は単なる遊び場としてではなく、子どもの運動機能向上や子育て世代の交流の場となるような機能を備える施設」を目的とし、子供と保護者が安心して、一緒に、楽しく、自由に遊べ、何度も来たくなるような楽しい時間を提供できるよう努めます。

令和2年3月末オープン累計来場者数：994, 729人（見込み）

施設の利便性や安全性向上のため、入退場口及びロッカー、下駄箱、休憩スペース、ベビーゾーンのリニューアルを中心とした工事を令和2年4月～6月の間で実施する予定（2～3週間）です。